

## みどころ

市の施設、ホテル、銀行、商店などが集中する阪急南千里駅から千里南公園、千里緑地、街路樹の整備された住宅地を周遊するコースです。千里緑地には、ニュータウン開発前からの千里丘陵の里山が残り、ヒメボタルが奇跡的に生き残っています。

### ①千里ニュータウンプラザ

8階建て。様々なサービスを提供する市の施設です。1階には市役所出張所、郵便局、2階ホール奥には「千里ニュータウン情報館」(37頁参照)、3階には図書館があります。



### ③千里南公園

駅に近く、南千里地区の中心の公園として親しまれています。丘があり、池があり、地形に変化があって散歩も楽しい所です。水仙、梅、桜、ツツジなど四季折々の花を楽しむことができます。中央の牛ヶ首池では冬場にカモなどの水鳥が来ます。円形広場や野外ステージを利用した大きな催しも頻繁に開かれています。



牛ヶ首池から高層住宅をのぞむ



10時、12時、15時、  
17時に響くカリヨン



石ぶみの丘の碑  
丘には15の歌碑・句碑

### ⑤彫刻「緑の風」



千里高校の東角に立つさわやかな少女

### ⑩千里ぎんなん通り

桃山台駅と岸部を結んでニュータウン内を東西に走る幹線道路です。イチョウ並木と、道路と住宅地の間にある厚い樹林帯が、騒音を防ぐとともに美しい景観をつくっています。



イチョウ並木

### ⑥高町池周辺～⑨海老池まで

高野台、佐竹台を取り巻く千里緑地は、開発時に自然のまま残した緑地帶です。とくに高町池から海老池にかけては、開発前からの樹木が茂り、虫や鳥のすみかになっています。

5月中旬から6月上旬にかけてヒメボタルが光を放ち最盛期には数百匹が数えられます。

秋から冬にかけて、カモなどの水鳥が飛来して、葦に身を寄せています。

ヒメボタルは1998(平成10)年から組織的な調査活動が開始されました。それ以来、「吹田ヒメボタルの会」や「吹田みどりの会」が毎年にわたってヒメボタルの生息環境や竹林の保全活動を地道に進めています。

それらの活動や両団体などが市へ提案した結果、2011(平成23)年にヒメボタルが「吹田市天然記念物第1号」に指定されました。

### ⑫佐竹公園

ぼだい池を中心にして、周囲がよく整備された公園です。

このあたりから「アケボノゾウの化石」が発見されました。そのことを示す説明板が設置されています。



ぼだい池にかかるハツ橋



ヒメボタルの発光の様子(写真は10分間連続露光)